



平成23年度活動報告

平成23年は3月に「東日本大震災」という未曾有の災害が発生し、国内外のみんなが悲しみ苦しんだ一年でした。その影響もあって、年度前半では多くの行事が中止されたり延期されました。そんな中でも当協会では、会員の皆さんが「がんばろうにっぼん！」を合言葉に復興支援や行事を通じて「絆」を深め、確かめ合う活動を行いました。ご協力ありがとうございました。この誌面でその内容をご報告いたします。平成24年度も積極的な参加で各部会活動を盛り上げましょう！そして草加から元気を発信しましょう！

平成23年10月2日(日)

国際村一番地 第8回国際交流フェスティバル (国際村一番地部会)

去る10月2日(日)、獨協大学にて開催されました。このフェスティバルは今年から獨協大学との共催になりましたが、5月の予定が順延され10月開催となったものです。

今回は、獨協大学のオープンキャンパスと同日開催となったことや、ワールドバザールの出店数が増えたことなどもあって、会場を天野貞祐記念館や小講堂にも広げられました。

①学生食堂では「世界の音楽とダンス」「武道で国際交流」。

②小講堂では「獨協大学 交流文化学科の研究発表」「世界の民族衣装試着体験」。

③多目的スペースでは「日本の文化体験」「市内国際交流協力団体PR」に獨協大学国際親善倶楽部を中心とした「東日本大地震支援コーナー」。

④35周年記念館前広場は「世界の食べ物」。

⑤天野貞祐記念館では「ワールドバザール」「留学生によるおしゃべりコーナー」と、大変盛り沢山のイベントに、約5千人の来場者に楽しんで頂きました。

獨協大学国際親善倶楽部のスタッフが担当した義援金募集では、8,392円の募金がありましたので、実行委員会として同額を加算して16,784円を、草加市被災者支援基金を通じて寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。



世界の食べ物に舌つづみ!



きらびやかな民族衣装を着た女性達

オープンキャンパスと同時開催



今年度は6月10日(日)開催!

国際村一番地 第9回国際交流フェスティバル



平成23年 10月24(月)~26日(水)



安陽市の皆さんを市役所でお迎え



和やかな歓迎レセプション

10月24~26日、草加市との友好都市協定を結んでいる、中国河南省安陽市政府代表団の一行が来草されました。急な来日決定で、さらに日程変更があったり、その上24日夜の来草で26日には他市へ移動されるなど、短時日のご訪問でしたが、張曼如団長初め計9名の団員は、精力的に市内の事業所や学校を視察されました。

25日(火)には草加市役所において、田中市長、当協会の加藤会長が出席して張団長以下代表団との間で、草加市と安陽市との友好関係が確認されました。また当日夜は、草加市と協会合同主催の歓迎レセプションが行われ、日中友好協会や獨協大学の関係者などと和やかに過ごされました。会場では、市内各保育所の若手職員による太鼓が披露されおおいに盛り上がりしました。

代表団一行は26日(水)早朝関係者の見送りを受け、草加市内のホテルから次の視察地に向かわれました。

平成23年 11月3日(祝)

だい かい ぞうか まつ ぐくさいむらいちばんちまかい  
**第3回 草加ふささら祭り (国際村一番地部会)**

11月3日(祝)行われた草加ふささら祭りは、文化会館部会に所属し、「世界の食べ物12か国14店」が出店、ステージではコンゴの音楽やトルコの民族舞踊に出演しました。また同時に「国際相談コーナー」を設けて相談を受け、PRをしました。

当日は商工祭りや宿場まつりなど草加市内がお祭り一色に染まり、主催者側の発表では30万人の人々が好天の秋の一日を楽しく過ごしていました。

国際村一番地にとっては、文化会館前駐車場での出店は初めてのことであり、集客力や会場レイアウトなど多少の戸惑いがありましたが、何とか初期の目的である「草加より発信 国際交流の輪」を通じてふささら祭りのにぎわいの一翼を担えたと思えます。



会場には14店舗の食べ物



ブルガリア バラ水やお菓子をどうぞ

こんねんど まつ  
**今年度の ふささら祭りは**  
 がつ つか ぶんか ひ ちゅうしん よてい  
**11月3日(文化の日) 中心に予定されます。**



平成24年1月29日(日)

～世界の仲間と友達になろう～ (Communication & Friendship)

「国際交流パーティー」開催

(市内交流部会)



華麗なロシアの踊り

美味しいお菓子を食べながらおしゃべり



市内交流部会では、市内交流団体や外国籍市民との交流を楽しんでもらおうと「国際交流パーティー」を2012年1月29日(日)午後2時～4時30分まで、草加市文化会館で開催しました。加藤協会会長の挨拶と獨協大学国際親善倶楽部代表大石さんの乾杯でパーティーが始まり、当日の参加者は一般市民・外国籍市民(26名)・日本語教室の皆さん・各種団体の皆さん等、123名の参加者がありました。

和太鼓・ロシアの踊り・琴・ゲーム等でパーティも盛り上がり、みなさんそれぞれ親睦を深めることができました。

また、トルコ・ペルー・ベトナム・マレーシア等のお菓子やケーキもあり、各国の味を堪能しました。

最後に、今回も獨協大学国際親善倶楽部のメンバーには11月29日の第1回打合せから当日の準備・運営・後片付け等多くのご協力に感謝いたします。

韓国仁荷大学校現場実習生との交流会(海外都市交流部会)

平成24年2月15日(水)

昨年(きょねん)の第8回(だい)から国際交流フェスティバル(こくさいこうりゅうふえすていばる)が獨協大学(どっきょうだいがく)と共催(きょうさい)になり(なり)かかわり(か)が深まる(ふか)なか、同大学(どうだいがく)の協力(きょうり)校提携(がく)校(がく)韓国仁荷大学校(こんがくにわだいがく)の現場実習生(ぎんげんじしゅうせい)15名(がくせい) (学生(がくせい)12名(にじふに) + 引率(いんそつ)3名(さん))が来草(きやうそう)した。草加市民(そうかしみん)との異文化(いぶんか)コミュニケーション(コミュニケーション)を望む(のぞ)大学(だいがく)からの要請(ようけい)で、草加市日韓友好協会(そうかしにっかんゆうこうきょうかい) (会長(かい)牛山信康氏(うしやまのぶやす)氏)の協力(きょうり)を得(え)て2月15日(水)の午後(ごご)のひととき(ちゆうおうこうみんかん)にて交流会(こうりゅうかい)を実施(じっし)しました。

日本側(にほんがわ)から桜餅(さくらもち)で、韓国側(こんがわ)から学生(がくせい)の準備(じゆんび)したホットック(ほったく)を、学生(がくせい)・日韓友好協会(にっかんゆうこうきょうかい)員(いん)・当協会(とうきょうかい)員(いん)など(な)総数(そうすう)40名(な)で、下(した)ごしらえ(え)・焼(や)いたり、出来上(できあ)り上がった(り)両国(りやうこく)のお菓子(おかし)を「チャルモツケスムニダ(いた)だきま(す)！」と金英姫(きんえいぎ)さんの掛声(か)で頂(いただき)ながら、韓国語(こんがご) & 日本語(にほんご)の飛びか(と)う和気(わき)あい(あ)いの雰囲気(ふんいき)にア(ア)リラン(リラン)の大合唱(だいがっしょう)も飛び出(と)し、あ(あ)っという間(ま)に過(す)ぎた異文化(いぶんか)・食文化(じきぶんか)交流(こうりゅう)でした。

その後(あと) 一泊(いっぱく)ホームステイ(ほーむすてい)を希望(きぼう)した6人(にん)の学生(がくせい)は受入先(うけいれさき)の方(かた)と家族(かぞく)のよう(よう)に肩(かた)を組(く)み拍手(はくしゅ)に送(おく)られ会場(かいじょう)を後(あと)にし幕(まく)を閉(と)めました。

今回(こんかい)の交流会(こうりゅうかい)は急(きゆう)な上(うえ)・初(はじ)めて(めて)の試(こころ)み(み)にもか(か)かわら(ら)ず、日韓友好協会(にっかんゆうこうきょうかい)の協力(きょうり)を得(え)て開催(かいさい)できた(きた)こと(こと)に心(こころ)から感謝(かんしや)し、「カムサハムニダ(ありが)とう)」と御礼(おんれい)申(ま)し上(あ)げます。



春(はる)の和菓子(わがし) 桜餅(さくらもち)づくりにチャレンジ!

とても美味(おいしい)しくいただきました





国際化の大きなうねりは、ここ草加市でも年を追って外国籍市民が増え、市内における国際交流の必要性が叫ばれて久しいものがあります。当協会では市民全体を対象とした活動として「国際村一番地」が、市内在住外国籍市民と活動団体を結ぶ「国際交流パーティー」があり、海外都市交流部会では「姉妹都市・友好都市との交流」を活動しています。文化教養部会は子ども向け国際理解の一環として「こども国際パーティー」を実施しました。今回の開催はひな祭りと同じ日ということもあり、企画は日本文化と外国文化の対比が面白みということであります。

実際の内容は海外のお祭りの紹介(プロジェクター)と、外国の食べ物や遊びの体験という内容にしました。海外のお祭りはインターネットの動画から紹介、食べ物に関しては、食品衛生上のこともありプロの手をお借りしました。遊びについては、「じゃんけん」(ミャンマー式)、「ゴム跳び」(タイ式)、「ケンケンパ」(フィリピン式)、「すごろく」(韓国式)で行われました。ゲームの進め方の中にその国特有のコンテンツが盛り込まれていて、結構国際理解が進んだと思います。

日本の文化の結晶ともいえる「ひな人形」は、市民の方からお借りして豪華に七段飾りを展示することができました。現在では大変貴重な技巧的な作品を目の当たりにでき、身近に拝見するのは初めてという方が多かったです。

アンケートでもなかなか評判も良く、特に聞き慣れた遊びであっても実際は日本の遊びすら経験の少ない参加者が多く、日本のふるさと遊びもなかなか好評であった反面、ふるさと子ども遊びの企画の重要性も感じました。

世界文化を知ることは日本文化をより深く知るという、部会の理念に合致していた活動となったことは大変有意義であり、参加したみなさんに喜んでいただいたことと同時に、今回の企画で得た大きな成果であったとスタッフ一同感慨深い一日でした。



各国の子どもの音楽を演奏



ひな壇を背に雅楽の演奏



子ども遊び みんな夢中

あなたも会員になって国際交流・協力活動をしませんか(入会申込みは随時受付中です)

- 姉妹都市・友好都市との交流
- 国際交流イベントの企画・運営
- 外国籍市民との交流
- 外国語・パソコンなどの特技を生かす協力

年会費 個人 2,000円 (高校生以下1,000円) 団体 (1口) 5,000円 ・法人 (1口) 10,000円

申込先 草加市国際交流協会事務局 (草加市役所文化観光課内) ⇒4月1日から変更

〒340-8550 草加市高砂1-1-1 電話 048-922-2968 FAX 048-922-3406 ⇒4月1日から変更

Eメール [sia@soka.ne.jp](mailto:sia@soka.ne.jp)

ホームページ <http://www3.alpha-net.ne.jp/users/sia021/index.htm>